

# 憲法しんぶん速報版

第 84 号

2004 年 5 月 6 日

発行＝憲法会議

Tel 03-3261-9007

Fax 03-3261-5453

## 東京・日比谷の集会、5000 人の熱気 改憲阻止、9 条守れの共同を決意

5 月 3 日、東京・日比谷野外音楽堂で開かれた「とめよう憲法改悪、立ち上がるう 9 条実現のために、イラク派兵を許さない 2004 年 5・3 憲法集会」は 5000 人の参加者で会場が埋めつくされました。一方、改憲派も都内でシンポジウムをひらき、「読売」が新たな改憲案を発表しており、たたかいはいよいよ正念場です。

### 海外代表を含め多彩な発言

「5・3 憲法集会」は実行委員会を代表して許すな憲法改悪・市民連絡会の高田健氏の主催者あいさつで開幕。

最初に歌手の横井久美子さんが、歌をまじえながら、子どもたちに平和の憲法を引き継ごうとよびかけました。小泉首相に扮したザ・ニューズペーパーのコントには会場が爆笑の渦につつまれました。

つづいて各界の代表が 2 分間発言。次代をになう中学生、東京地婦連の水野英子さん、キリスト教協議会の鈴木怜子さん、航空労組連の内田妙子さん、杉並の教育を考える会の丸浜江里子さん、北部市民連絡会の中尾こずえさんが、それぞれの立場から憲法改悪に反対する決意を述べました。

リレー・トークには 4 人が登場。韓国「平和を創る女性の会」のチョン・ギョンランさんは、日本の 9 条の尊さがかつての被侵略国の立場から強調。イタリア「平和のテーブル」のマウリツィオ・グッビョッティさんは、日本国憲法 9 条と同趣旨の条文を EU 憲法に入れる運動を紹介。社民党党首の福島みずほさんは、日本国憲法を世界に広げ、改憲阻止のうねりをつくろうとよびかけました。日本共産党委員長の志位和夫さんは、21 世紀になくすべきは 9 条ではなく安保条約だと強調しました。一言一言に、会場から大きな拍手がおきました。

### 草の根からの学習や共同を

集会では、実行委員会が公募したポスター、ロゴ・マークの審査結果が発

表され、ポスターの入選1点(大賞は該当作なし)、ロゴ・マークの入選1点が発表されました。

集会はアピールを採択した後、憲法会議を代表して全労連議長の熊谷金道さんが行動提起をかねた閉会あいさつ。①憲法学習を全国で無数に開く、②日常的に職場・地域・学園で憲法を生かす、③草の根から共同の輪を広げる、ことをよびかけました。

## 9 都県で共同の集会

3日には、東京の集会とあわせ、全国各地で憲法会議の主催や革新懇などとの共催、実行委員会方式などによる憲法集会がいつせいに開かれました。そのなかでは憲法をめぐる重大な情勢のなかで、9条を守るために共同をとという国民の声を反映し、「5・3憲法集会」を共同で開く県が増えていきます。その組み合わせもいろいろありますが、共同の力で集会を開いたのは、宮城、茨城、東京、長野、石川、京都、島根、香川、高知の9都県です。(なお、全国の集会のもようは集約中ですので、おって「憲法しんぶん」等で紹介します)。

### 各界からのメッセージ

「5・3憲法集会」の会場で紹介されたメッセージの中から…

○永六輔(放送タレント)…岩波新書の『伝言』という本の中に書いたんですけども、戦争反対ということはいろんな人がいろんな言葉で言っています。新内の岡本文弥さんの言葉をご紹介します。「戦争はいけません。あれは、

### 読売新聞社がまた改憲案

読売新聞社は3日、「憲法改正2004年試案」を発表しました。2000年につづいて2回目。

今回の特徴は、「『個人の自律』、『相互の協力の精神の下に、『自由で活力ある社会』を国の基本理念、基本的価値』として明確にしたことにあるといえます(読売)。

しかし、それはたとえば現行25条には、第3項として、「自己の努力と相互協力により、社会福祉及び社会保障の向上及び増進を図る」を加え、結局は国の責任をまぬかれるというものです。他の人権についても、「公共の福祉」「国家の安全」の面からいっそうの制限が強め、義務も増やそうというものです。

もちろん、9条の改悪については前回案を整理し、いっそう強調したものとなっています。

散らかしますから」。この散らかしますからという一言のなかに、いかに強い戦争反対がこめられているか。この言葉を大事にしたいと思います。

○高橋哲哉(東京大学教授)…この間、日本社会の「地金」が露出してきたという思いを禁じ得ません。まるで民主主義と平和は、この「地金」の上に塗られたメッキにすぎなかったかのようなのです。このうえ憲法9条が改悪され、教育基本法に「愛国心」が掲げられることになれば、平和と人権は冷笑され、戦争と差別の現実に居直る強者の論理がまかり通ることになるでしょう。平和と人権をこそ、この社会の「地金」とするために、いま行動することが必要です。